

成長戦略事業

超小型モビリティ 導入実証事業

2,571万円

国の補助事業の活用と自動車メーカーの協力により、30台の超小型電気自動車を導入し、環境にやさしいまちづくりに向けて、実証事業を行います。



つやま産業支援センター設置推進事業

1,000万円

産学金官が連携して、市内事業者への支援を包括的に行うため、つやま産業支援センター(仮称)の設置に取り組みます(平成27年4月開設予定)。

産学官連携支援事業 補助金

520万円

美作大学や津山工業高等専門学校などの共同研究や委託研究を実施し、新商品の開発や新技術の導入などを旨とする事業者を支援します。

農畜産物ブランド化 事業

1,617万円

「つやま和牛(仮称)」として、津山産和牛のブランド化を目指し、畜産農家が取り組む、繁殖から肥育までの一貫した経営を支援します。



地域材利用新築住宅 助成補助金拡充

600万円

優れた美作産木材の需要を拡大するため、既存の補助制度に、三世帯同居住宅やJAS(日本農林規格)認定材使用住宅の新築費用に補助を上乗せします。



観光戦略アクション プラン策定事業

618万円

歴史や文化資源、食文化など多彩な観光資源を生かして、新たな観光客を獲得するために、観光振興を戦略的に進める「アクションプラン」を策定します。



平成26年度

6月補正予算

の概要をお知らせします

図財政課 ☎32-2020

肉付け予算として編成

今年度の当初予算は2月に市長選挙があったことから、市民生活への影響に配慮しながら義務的経費や継続的な事務事業に要する経費を中心に編成した「骨格予算」でした。

6月補正予算では「肉付け予算」として、当初予算で計上を見送った市総合計画の主要事業や津山市成長戦略に位置付けられた事業などの政策的経費を計上しています。

一般会計の補正予算額は、44億6856万1千円の増となり、補正後の予算総額は473億4856万1千円となっています。主な事業を紹介します。

「津山市成長戦略」とは

市では、人口減少に対応し、持続可能なまちづくりを進めるための産業の成長方針として、2月に、津山市成長戦略を策定しました。

成長戦略では「農林業」「ものづくり」「観光」「再生可能エネルギー」の4つを重点分野としています。

今後は、これらの4つの分野で、地域資源や技術力を結集し、ブランド化を進めて地域外からの需要を得るとともに、さらなる地産地消により、地域の活性化を目指すものです。